



発行責任者

西川 晃二

【校長室より】

五高の「かたち」

先日、終業式を行い、生徒に向けて1学期の総括をしたところです。おかげさまで、大きな事件、事故もなく1学期が終わろうとしています。生徒各自には、更なる飛躍を遂げるべく、長くて短い夏季休業期間ですが、十分に充電してもらいたいと話しました。高校生にとって、夏をどう過ごすかが、その後の高校生活のターニングポイントとなります。生徒は、一夏（ひとなつ）で、すぐに变身します。その变身は、良い場合も、悪く変わる場合もあります。それゆえ、「良く」なりたいというプラス思考で臨むことが大切です。理想の自分を掲げ、それに向かって一生懸命に努力してほしいものです。特に3年生、受験生にとって夏は天王山です。勝負の時です。

今月上旬に高校野球県大会が開催されました。第1回戦は対島原中央高校、久方ぶりの初戦突破でした。私も応援に駆けつけ、久しぶりに夏の太陽をじっくりと浴び、日焼けしました。腕も顔も、蝉ではありませんが、脱皮しました。第2回戦は対鹿町工業高校戦。今度の戦いは、五高ナインも踏ん張ったのですが、相手が一枚上手で残念ながら敗退。五高球児の夏が終わりました。五高といえば、柔剣道と陸上が2枚看板ならぬ、「3」枚看板ではありますが、6月の高総体と今度の野球を応援し、3部以外の部活動の活躍、成長の手応えを実感しています。次年度に向けてさらなる奮闘を期待しています。今後とも、保護者の皆様には各部選手への支援等をお願い致します。

23日には、長崎大学が初めて企画した「リケジョの誘い」が五島高校を会場に開催されました。市内中学生、高校生の女子生徒を対象に開催されたものです。なぜ女子だけ、という疑問もあるでしょうが、理系学科に対して女子生徒に関心を持ってもらい、進路選択の幅を拡大してほしいという願いから開催されたものです。つまり、女子生徒は文系という構図に風穴を開けたいという思いから実施したものです。五人の女性教授、准教授による、水産、建築、医療、看護、放射線の5講義が終日行われましたが、生徒たちには好評でした。これから、女子生徒が理系教科へのさらなる取り組みが行われるように個人的にも期待したいと思います。本企画の実施は、男女共同参画の考えからすれば当然の流れでもあります。

さらに、生徒たちが、このような企画に参加することを通じ、問題の核心に気づいてほしいと思いました。女性の社会参加は叫ばれて久しいですが、社会全体に受け入れ態勢が、十分であるとは言えません。特に、女性が結婚、妊娠、出産、育児を経験する、その支援態勢は社会全体まだまだ不十分です。特に医学の世界では、1年以上現場を離れると、もう対応できないそうです。また、他の世界でも同じ状況であり、育休を十分とることができる現場の雰囲気があるとは言えません。国の盛衰は、国を支える国民の人口増が礎（いしずえ）です。現在、日本は少子高齢化が喫緊の課題となっています。特に地方は深刻です。五島も深刻な事態となっています。現在中学3年生は380名ほどです。しかし、島内高校の定員枠は400名ほどです。これが単一学年300名を切るのが、今の小学4年生です（ただし、一時的ではありますが）。少子化は高校の定員枠にすぐ跳ね返ります。今後、子どもの教育環境を維持するためには、子育て支援、これが課題解決の第一歩であり、同時に最終目標ではないでしょうか。今、福井県が輝いています。それは県を挙げての子育て支援態勢が充実し、生活のいろいろな場面でプラスに働いています。また、健康長寿で住みやすさ日本1位、県民の幸福度調査日本1位だそうです。何も「生めよ、増やせよ」の戦前の思想を喧伝するつもりはありませんが、人口の確保がいかに大事であるかは明らかです。「育児環境の改善」「女性目線に立つての社会環境の整備」「社会保証の安全」が目指すべき方向であるのは確かでしょう。

「国のかたち」めいた大げさな話になりました。最後に今月31日から始まる高総文祭、JRC・ボランティア部門の開催案内をさせていただきます。



五島地区では

JRC・ボランティア部門が開催されます。

日程：平成25年7月31日（水）～8月2日（金）

場所：五島市福江文化会館 県立五島高等学校

ボランティア活動や国際協力活動等に取り組む高校生が全国から集まり、活動報告やフィールドワークを通して交流します。五島の豊かな自然や文化について学習するとともに、ボランティア活動の輪を広げる取り組みをします。

全国の高校生の文化の祭典
長崎で開催！

7/31²⁰¹³ * 8/4日2013
長崎

第37回 全国高等学校総合文化祭

しおかぜ総文祭

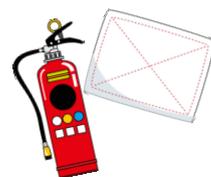
集え長崎 祝げれ文化の祭に

めいりん
美龍

寮大掃除・避難避難訓練（6月28日）

6月28日（金）、寮の大掃除と避難訓練を行いました。大掃除は午後3時から1時間みっちり、生徒・教職員で行いました。期末考査最終日の午後ということもあり、気分一新！張り切って掃除を行うことができました。食堂の床の拭き掃除など普段出来ないところまで掃除を行い、見違えるほど寮がきれいになりました。

また大掃除後16：10から、自衛消防訓練を行いました。避難訓練だけでなく、模擬通報や消火器の使い方の講習、避難梯子の確認も行うことができました。消防署職員の方から講話もしていただき、寮生のみなさんの防火に対する意識も一層高まったようです。



五高祭テーマ発表（6月18日）

今年度の五島高校文化祭（通称：五高祭）のテーマ発表が6月18日（火）に行われました。今年度の実行委員は35名。テーマ発表のコンセプトは「現時点での実行委員の技術を全て出し切る」でした。

テーマは、『希望（みち）～歩みを止めるな今の自分』に決定しました。テーマ発表は、三部構成で行いました。第一部は「テーマ表現」として、テーマから連想される曲をバックに実行委員

の一人・浦口千愛（うらぐちあき）さんのダンスにより『希望』を表現しました。第二部では「テーマ発表」を行いました。体育館ステージ上に並べた3枚のスクリーンを使ってテーマとマスコットキャラクターの発表を行いました。実行委員長である中村夏望（なかむらなつも）さんが、「今年度の五高祭のテーマは、五高生に希望を与えるテーマとなりました」と、このテーマの趣旨を説明。なお、テーマのロゴと、マスコットキャラクターである「あーちゃん」と「こうくん」はイラスト部が作成しました。第三部は、「ライブ&挨拶」として、前年度の五高祭を振り返り、今年度の五高祭へとつなげました。特に、前年度五高祭で作成したオリジナル曲「あこのように」を3年1組の中村光（なかむらひかり）さんが歌い、会場は大歓声に包まれました。最後に、実行委員長、副委員長、スーパーサブの4名がステージに立ち、ユーモラスな中にも強い意気込みを感じさせる挨拶でこの会を閉めました。現在、文化部や各クラスがそれぞれの出し物や展示の企画・準備を進めています。今年度も全校企画や実行委員企画などを準備しています。今年度の五高祭にご期待ください。（なおイラスト部作成のロゴ、マスコットキャラクターは本校ホームページのトップページで見ることができます。是非、ご覧になってください。）



あこうセミナー（7月2日）

7月2日（火）の6・7校時、普通科を対象に、第1学年では「あこうセミナー」を実施いたしました。これは毎年、総合学習の一環として行っており、医療系の保健師・理学療法士や行政関係、法律関係、海上保安庁などの13分野から、地元で活躍されておられる方々をお招きして、その職業について話をさせていただくというものです。特に普通科普通コースでは7月に文理選択を控えているから、希望分野の話を真剣な表情で聞いていました。今年度は新しい分野として、五島振興局家畜衛生課より獣医師の方と理系からも公務員を志望している生徒が増えていることから、市役所（技術職）の方にもお願いをして話をさせていただきました。

生徒の感想文には「世の中に貢献できる人間になりたい」「文理選択を真剣に考え、自分の夢に向けて間違いのない選択をしていきたい」などと書かれており、職業への興味・関心や進路意識を高めるよい機会になったようです。



体育祭テーマ発表（7月5日）

7月5日（金）の7校時、体育祭のテーマ発表が行われました。

今年のテーマは『笑舞（しょうぶ）』

「勝ち負けも大切だが、みんなで笑って楽しく体育祭を盛り上げていこう！」と実行委員長の西津大志（3-6）さんがテーマ設定の理由と意気込みを熱く語ってくれました。

生徒の一番の関心事である団の色を決めるセレモニーでは、各団の代表生徒とともに3学年の小島先生、笹井先生、猿渡先生が体操服を身にまとい、段ボールレースに参加してくださいました。レースの結果で抽選を行い、赤・青・黄の3団が決定。いよいよ体育祭に向けて動き出しました。



今年のテーマ『笑舞（しょうぶ）』

マリンスポーツ実習（7月3日～5日）

7月3日（水）から5日（金）の日程で、玉之浦小浦海水浴場でのカヌー実習（玉之浦町商工会の御協力）やさんさん富江キャンプ村での水泳実習、マリンスポーツ（ビーチサッカー・ビーチフラッグ）、飯ごう炊さん、普通救命講習（富江町公民館・五島市消防署の御協力）などを実施しました。今年は、強風でカヌー実習などでは苦戦をしましたが、幸い強い雨は降らずにテントでの宿泊やその他の実習を無事に終えることができました。

生徒たちは個々の役割を果たし、協力して活動している様子を目にする機会が多い素晴らしい実習でした。生徒は、快適とは言えない不便なテント生活という普段できない体験を通して、自然の雄大さ、仲間と協力して生活することの大切さ、さまざまな活動をやり遂げた時の達成感を味わうことのできた素晴らしい実習であったと確信しています。これらの実習を実施できるのも地域の方々を始め、多くの協力や援助があったのだと思います。本当にありがとうございました。



衛生看護科1年生施設実習（7月8・9日）

7月8日（月）・9日（火）に施設実習を経験しました。初めての実習ということもあり緊張気味で初日を迎えたのですが、2日目には幾分、緊張も和らぎ入所者の方と楽しくコミュニケーションをとる場面も見受けられました。

～生徒の感想（2日間の学び）～

この2日間を通して、学校の授業だけでは知ることのできないことをたくさん学ぶことができました。自分達の知識・技術がいかに未熟であるかを感じました。利用者さんを援助する中で「ありがとう」という言葉が私の心に印象的に残りました。今回、学んだことを活かして、次回実習させて頂くときは、利用者さんのためにできることを増やして頑張りたいです。



第1回校内競技大会結果（7月12日）



お世話になりました！

種目	男子		種目	女子	
	優勝	2位		優勝	2位
バレーボール	3年4組	3年5組	バレーボール	3年5組	1年1組
ソフトボール	3年6組	2年2組	サッカー	2年1組	3年2組
卓球	3年4組	3年5組	ソフトテニス	1年1組	1年5組

アンドリュー先生離任式 （7月19日）

7月19日（金）にアンドリュー先生の離任式が行われました。アンドリュー先生は、スポーツ国際交流員（SEA）として本校に赴任され、2年間、陸上部を中心に御指導いただきました。離任式では、生徒のみなさんや陸上部へのメッセージ、五島への想いを語っていただきました。

「どんなに離れていても、人とのつながりは強い」アンドリュー先生が伝えたかったことです。私たちは先生から教えていただいたことや先生の笑顔を忘れません。先生の今後の御活躍を五島の地からお祈りしています。

吹奏楽コンクール壮行式と結果（7月19日・23日）

7月19日（金）、吹奏楽部の壮行式を実施しました。今年は3年生13名、2年生15名、1年生11名に、臨時部員2名を加えた総勢41名で、課題曲Ⅳ『エンターテインメント・マーチ』と自由曲『アフリカ：儀式、歌、祭礼』を演奏しました。壮行式での反省点を活かし、7月23日（火）長崎市公会堂で行われた長崎県吹奏楽コンクールに挑みました。最大55名の大編成バンドと勝負するため、五島高校は丁寧な音楽づくりと音の美しさを武器に「心に響くサウンド」で戦ってきました。本番では壮行式よりもスケールアップした魅力的なサウンドをホールに響かせ、部員全員が楽しく演奏することができましたが、惜しくも銀賞に終わりました。2日間にわたって行われた高等学校の部では、全51団体が演奏を披露し、金賞9校・銀賞19校・銅賞23校という結果でした。昨年は15校が金賞を受賞しており、金賞常連校が次々に銀賞とアナウンスされる度、会場はどよめきました。審査はとても厳しいものでしたが、今まで積み重ねてきたものを発揮し全力を尽くすことができました。3年生引退後は1・2年生で力を合わせて、今後一つひとつの行事を成功させていきたいと思っています。今までたくさんのご支援ご協力をいただき、本当にありがとうございました。これからも応援よろしくお願いします。

「君達かっこいいよ」

第2学年主任 山ロー守

五島高校野球部の第95回全国高等学校野球選手権記念長崎大会が7月14日に終わった。試合終了後、涙を流す生徒を見た瞬間、「終わったんだ。」と実感した。力が抜けた。なぜ、涙を流すのだろうか？理由はそれぞれだろうが、ひとつ挙げるとしたら、「本気」になったということだろう。周囲には多くの人が集まっていたが、涙は恥ずかしいという気持ちは薄れていたように見えた。

そんな姿を見ていて「羨ましい」と思った。戻れるなら、戻りたい。高校生という時間を目一杯生きている生徒の姿を見てると若干の嫉妬も生まれてくる。かっこよく見えて仕方ない。でも、僕はもう高校生に戻ることはできない。それならば、今この瞬間をかっこよく生きていくしかない。こんな気持ちを僕に湧き起こしてくれた野球部の生徒に感謝したい。でも、君達や尊敬する人には負けたくないし、目標にチャレンジし続けたい。それが今の正直な気持ちだ。熱く生きていきたい。



「私の職業観」

第1学年主任 久保田幸成

私は不器用な人間である。昔からいろいろなことを同時に進めることがとても苦手だ。動物を描くと「何の物体か」といわれるので、生徒からの依頼があっても極力絵は描かない。数学は中学校までは何とかこなしたが、高校に進んでからはどうにもならなくなった。だから何でもそつなくこなす器用な人には、常に羨望の眼差しを送っている。そんな劣等感を抱く自分自身だが、人に教えることはとても好きだった。小学3年の頃、隣に座っていたKさんという女の子が作文にこう書いていた。「給食で嫌いなヨーグルトを、横の男子が『もったいないからのこすなたべろ！』といったのでたべるとおいしかった」この作文が書かれた学級通信を私の母親は大切に取っていて、中学生だった私に見せてくれた。たぶん私が今教壇に立っていることの源泉は、ここにある気がする。自分の一言が他人を変える、なんとうれしく、責任ある、魅力的なことか。この作文がなかったら、母親がこのプリントを大切にしまっていなかったなら、教師という職業選択はなかったかもしれない。

15年私はこの職に就いているが、教師になって本当によかったと勝手に思っている。苦手なことはたくさんあるが、一つのことに集中し、専門的な探求ができ、その知や経験を通して教えることができる。もちろん苦手なことからも多くのことを得て生徒に還元できる。少しは世の中の役に立っているだろうと思っている。

何をやりたいかではなく、どういう形で世の中の役に立つのかを考えるべきではないだろうか。個が中心なのではなく、世界が中心なのだ。その中に存在する1人の人間として何ができるのかを考えなければならない。そういう意味でより広い視野を持ち、物事を考えることができる人間になり、自分ができるところを探していくことが、職業選択につながると思っている。これからも「おいしかった」という言葉を求め続ける教師でありたいと思う。

インターハイへの抱負

柔道部 祝 貴之 (3-4)

私は8月9日に福岡で行われるインターハイ柔道競技の81kg級に出場します。高校生になって初の個人戦での全国大会出場なので、少し不安や緊張もありますが、上位進出を目指して、悔いの残らないよう戦いたいと思います。1回戦から強豪校の選手と戦うことになりませんが、全力を出し切り、勝ち進んでいきたいと思います。また、この大会に出場出来るのも、皆さんの支えがあったからです。なので、感謝の気持ちを忘れずに頑張っていきたいと思います。応援宜しくをお願いします。



全国大会への抱負

百人一首カルタ部 江川 楓 (3-1)

私たち百人一首かるた部は7月27・28日に近江神宮で開催される全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会に出場します。全国大会では部員全員で力を合わせ、1枚1枚しっかりと取り、目標である決勝トーナメント進出を果たしたいです。

また5名の部員が8月2日から4日にかけて長崎しおかぜ総文祭にも出場します。チームを組む青雲高校、総文祭のスタッフとして参加する本校の部員、そして他校の部員全員で頑張るので応援よろしくをお願いします。



オープンスクール (7月22日)

7月22日(月)に本校でオープンスクールを開催しました。約300名の中学生・保護者の方、そして先生方が島内・外から参加していただきました。ビデオによる学校紹介、学校説明の後、体験授業・施設見学、進路指導部からの説明、生徒による部活動紹介を実施いたしました。またオープンスクールの運営には主に高校1年生からボランティアを募り、手伝っていただきました。中学生と高校生の座談会である「先輩と語ろう」では、和やかな雰囲気の中、中学生のみなさんのたくさんの疑問・質問に高校生が一生涯懸命に答えていました。中学生のみなさん、保護者のみなさん、オープンスクールはいかがだったでしょうか？五島高校の良さを感じていただけたでしょうか？中学生のみなさんの入学を心よりお待ちしております。

